

# 所沢市の概要

所沢市は、埼玉県の西南部、東京都心から 30km の距離にあり、東は新座市、三芳町、西は入間市、南は東京都、北は川越市、狭山市にそれぞれ接している。明治年間に所沢飛行場が開設され、わが国の航空発祥の地として知られている。昭和 25 年 11 月 3 日に市制が施行され、昭和 30 年に三ヶ島村・柳瀬村を合併して、現在の所沢市となった。

市域は東西約 15.6km、南北約 9.1km で、総面積 71.99 k m<sup>2</sup>の内、宅地が約 32%、畑が約 27%の面積を占める。市の東部・北部地域は平坦で農用地が多く、西部地域は丘陵地帯があってその多くは森林や農地になっている。市制施行当時（昭和 25 年）の所沢市の人口は 42,559 人だったが、昭和 33 年に日本住宅公団による新所沢団地（緑町）の分譲が開始されて急速に増加し、昭和 42 年には 10 万人、昭和 51 年に 20 万人、平成 2 年に 30 万人を突破し、平成 15 年 1 月末日現在、人口は 335,990 人、世帯数は 132,497 世帯である。

交通は、西武池袋線、西武新宿線、西武狭山線、西武山口線、JR 武蔵野線の 5 路線が通っている。バス便は、各鉄道の駅から西武バスが、平成 10 年からは市内循環バス「ところバス」が運行されている。また、道路は、市域の東部に関越自動車道の所沢 IC があり、中央部を東西に国道 463 号が通過しているほか、県道 8 路線が延びていて、周辺地域へのアクセスが良い。

商業施設は、所沢駅西口に再開発された商業ビル「ワルツ」に西武百貨店をはじめとしたテナントが入り、これを核として駅周辺に西友、丸井、ダイエー等の大規模小売店舗や各種小売店舗が連たんしているほか、郊外のロードサイドに大規模店舗の出店が見られる。

現在、第 4 次所沢市総合計画に基づき、市街地再開発事業による高層マンションの建設や土地区画整理事業等による都市基盤の整備を行い、貴重な緑地の保全に努めながら環境への負担が少ない環境共生都市の構築を目指している。

平成 15 年 2 月 19 日現在